

ウンカ類情報第2号（トビイロウンカ）

令和4年7月15日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

トビイロウンカが近隣県で多数誘殺されました

1 発生状況

愛知県内では7月上旬までの本田調査において発生を確認しておらず、予察灯においても誘殺されていません。なお、本年は本県への飛来に適した気象条件が6月25日時点で4回出現しています（表1、図1）。

近隣県では、静岡県の予察灯4地点において6月第5半旬に合計80頭以上の誘殺が確認されており、三重県においても予察灯で誘殺が確認（6月第5半旬）されています。近隣県の状況から、本県においてもすでに飛来している可能性が十分にあります。ほ場に入って株元をよく観察するなど、発生動向に注意してください（参考 図2、図3）。

2 防除時期

トビイロウンカの防除適期は、各世代の幼虫発生期です。第一世代及び第二世代の幼虫発生盛期にあたる時期の本田防除が、その後の増殖を抑えるうえで有効となります。また、幼虫の成長とともに、薬剤に対する感受性が低下するため、早期の防除が重要です。

飛来予測日に本県にトビイロウンカが飛来していると仮定し、幼虫の発生予測時期について有効積算温度をもとに計算しました（表2）。ほ場におけるトビイロウンカの発生動向、移植時期及び育苗箱施薬による防除の有無などを考慮し、表2を参考に防除を検討してください。

表1 愛知県への飛来解析結果

飛来予測日	
6月	15日、22日、25日（2回）

ウンカ飛来解析については、データ提供元のシステムに不具合が生じたため、6月25日夕方以降の解析データはありません。

表2 有効積算温度をもとに計算したトビイロウンカ幼虫の発生予測時期（7月15日計算）

飛来予測		名古屋	岡崎	新城	豊橋
6月15日 飛来群	第二世代幼虫	8月7日	8月10日	8月11日	8月9日
6月22日 飛来群	第二世代幼虫	8月11日	8月14日	8月15日	8月12日
6月25日 飛来群	第一世代幼虫	7月19日	7月19日	7月20日	7月18日
	第二世代幼虫	8月15日	8月16日	8月18日	8月15日

各地のアメダス過去30年間の平均気温から予測（豊橋は過去16年間）。

7月14日までは実測値を、それ以降は平年値を用いて計算。

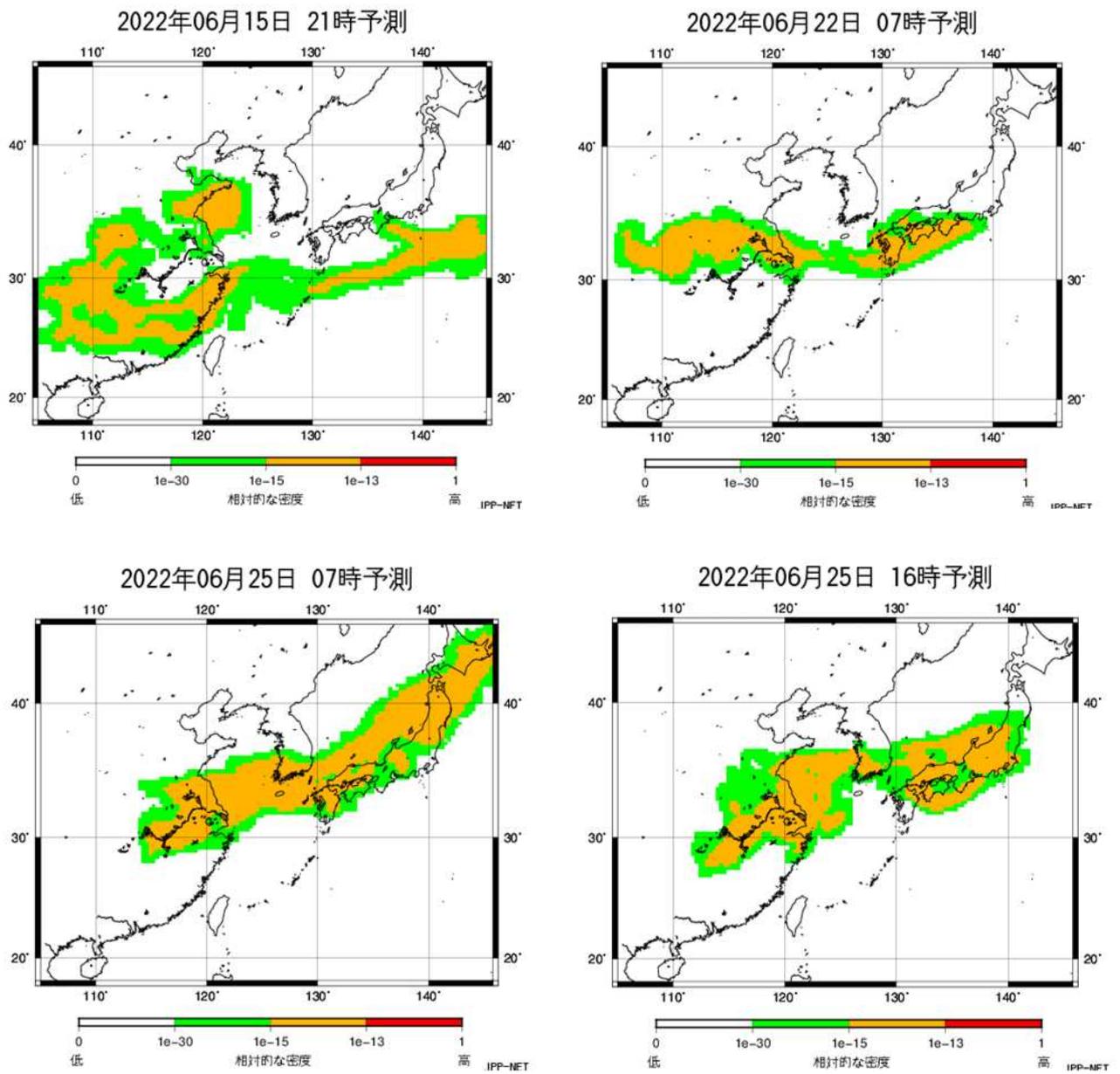


図1 各飛来予測日におけるウンカ類飛来解析図

提供：JPP-NET



図2 トビイロウンカの幼虫



図3 株元に群生するトビイロウンカの幼虫